

岩手県岩手郡岩手町

IWATE TOWN
SUSTAINABLE
DEVELOPMENT
GOALS



石神の丘美術館

岩手県岩手郡岩手町の概要

IWATE TOWN
SUSTAINABLE
DEVELOPMENT
GOALS



岩手町は、岩手県庁所在地盛岡市の北に隣接し、盛岡市の中心部から約30kmの地点にあります。平成14年12月には東北新幹線の停車駅「いわて沼宮内駅」が設置されました。

町の地形は、北西から南東にほぼヒシ形に広がり、総面積は360.46km²。町の面積の約76%が山林・原野となっており、世帯数5,389、人口は12,172人となっております。

・ホッケーの町

昭和45年の岩手国体でホッケー競技の会場となったことを契機に、ホッケーを町技として普及させ、今では小学生からお年寄りまで幅広い年齢層の町民が親しんでいます。県立沼宮内高等学校をはじめ、小中学校、社会人クラブチームも全国大会で優勝し、五輪選手をはじめ全日本選手を多数輩出しています。

・彫刻のある町

岩手町では従来から文化の振興に力を注いでおり、昭和48年から平成15年まで毎年行われた「岩手町国際石彫シンポジウム」は、彫刻家が腕を競うユニークなイベントとして高い評価を受けました。参加した作家と作品の数も百を超え、彫刻公園や町内各所でその作品群を見ることができます。また、町立石神の丘美術館は、彫刻と自然が織り成す美の競演をコンセプトにした野外美術館として親しまれています。

・北上川源泉の町

東北で最長、全国で4番目の延長となる北上川の源泉「弓弭の泉（ゆはずのいずみ）」。前九年合戦で源頼義、義家父子が進軍した際、打ち続く炎暑に苦しみ、観音に救世を祈願し義家が弓弭（ゆはず）を持って岩に刺したところ、泉が湧き出たという伝説から名付けられました。

・北緯40度の町

人間が健康で文化的な生活を営む上で最も適しているといわれる北緯40度線上には、北京、アンカラ、リスボン、マドリード、フィラデルフィア、デンバーなど、世界の大都市が位置し、それぞれ豊かな文化の花を咲かせています。



SDGs 姉妹都市提携



経済面の課題

- 縮退社会の中で、地域全体の所得/消費が減少
- 主幹産業である1次産業をはじめ、様々な産業・業種で労働力が不足

社会面の課題

- 地域コミュニティが弱体化/社会的に孤立する弱者が増加
- 医療・福祉などの社会サービスが縮減されていく懸念

環境面の課題

- 豊かな自然/森林・河川環境の保全・担い手の育成
- 資源・エネルギーの地産地消、地域内循環サイクルの確立

2030年のあるべき姿

新しい地域社会の創生には、何よりもまず町民の「自治意識」の高揚が重要。「自分のために、町は何をしてくれるのか」ではなく、「町のために、自分は何を為すべきか」を町民の一人一人が考え、行動する風土をつくるため、岩手町はまず、町民の「シビックプライド」を喚起する。

農業、保健福祉・スポーツ、芸術など、多くの町民が大切に、次代へと守り伝えていきたいと考えている町の特徴ある活動を「3つのカルチャー/アート」として地域ぐるみで磨き、世界に誇れるブランドに育て上げる。ブランド価値の高まりがシビックプライドを高め、シビックプライドの高まりがブランドを育てる。

21世紀型の姉妹都市提携モデルとして「SDGs姉妹都市」を提唱・推進し、町ぐるみで共創する3つのカルチャー/アートを広く、深く発信することで、世界のSDGs先進都市から戦略的なパートナーとして「選ばれる町」を実現し、共に学び合い、高め合う、互恵的で、創造的な関係を築いていく。このことにより、町民のシビックプライド/町のブランド価値が相乗的に高められていく。

SDGs姉妹都市との連携により、様々な先導的な知見、技術やノウハウ、制度等を、リビングラボの手法を使って地域内外の様々な人々、企業・組織を巻き込みながら町に移転・導入し、実証的な活動を積み重ねていくことで、ラボが共振的な学びの場となり、町の未来を担う「戦略的なSDGs人材（地域共創人材）」が育まれる。

このようにして一連の取組を進め、シビックプライドの醸成・高まり、町のブランディング/ブランド価値の向上、SDGs姉妹都市との連携を3つのボトムラインとして町の持続可能性を高めていくことで、これらの間に自律的な好循環のスパイラルが生まれ、その相乗効果によって、さらに町の魅力・求心力、持続可能性が高められていく。

～世界の岩手町と目指す未来を語る～

岩手町自治体間連携 フォーラム2022

町では、「岩手町SDGs未来都市計画」の実現に向けて、「岩手町SDGs未来都市共創プロジェクト」に取り組んでいます。本フォーラムでは、国内外の自治体との連携に関するセミナーと、岩手町のこれからの可能性について、参加自治体とのパネルディスカッションを行います。
これからの岩手町について一緒に考えましょう!



日時 2022年12月10日(土) 13:00~15:30

場所 岩手広域交流センター「プラザあい」1Fホール
(岩手町大字江刈内第6地割1-4)



ファシリテーター
萩原なつ子氏

(独立行政法人 国立女性教育会館 理事長)

第1部

セミナー

海外自治体との連携を目指す岩手町

岩手町長 ————— 佐々木光司
在フランス日本国大使館 一等書記官 — 畑中雄貴氏
株式会社sinKA CEO — 町井則雄氏

第2部

パネルディスカッション

国内自治体との連携の先にある岩手町の可能性

宮城県石巻市
埼玉県さいたま市
東京都豊島区

うら面へ

申込・問合せ QRコードによるお申し込みまたはメール、お電話にて「お名前・ご連絡先」をお知らせください。

岩手町 みらい創造課

☎ 0195-62-2111 (内線218)

FAX: 0195-62-2073 MAIL: mirai-1@town.iwate.iwate.jp

岩手町SDGs未来都市共創プロジェクト事務局

✉ sdgs@sinka.social (担当: 村山)

主催: 岩手町



岩手町は、内閣府より、
2020年度「SDGs未来都市」として選定されました。

岩手町自治体間連携フォーラム2022

第1部 セミナー

海外自治体との連携を目指す岩手町

第7回 日仏自治体国際交流会議に参加して

岩手町長 ————— 佐々木光司

岩手町とフランスの交流とその先に

在フランス日本国大使館 一等書記官 ————— 畑中雄貴氏

海外調査事業報告

株式会社sinKA CEO ————— 町井則雄氏

第2部 パネルディスカッション

国内自治体との連携の先にある岩手町の可能性

宮城県石巻市 北上川流域による自治体連携
2020 SDGs未来都市

埼玉県さいたま市 カーボンニュートラルに向けた自治体連携
2019 SDGs未来都市

東京都豊島区 国際アート・カルチャー都市との持続可能性に向けた連携
2020 SDGs未来都市

ファシリテーター

独立行政法人 国立女性教育会館 理事長 ————— 萩原なつ子氏

国内とのSDGs姉妹都市提携



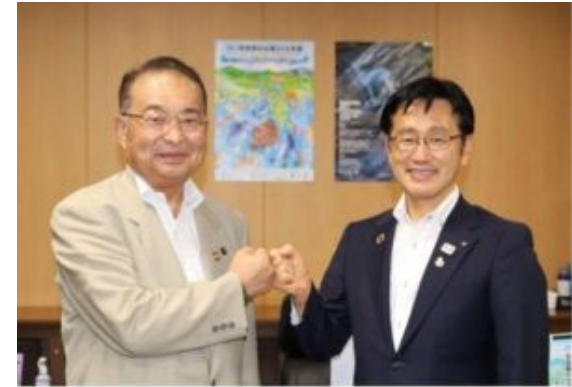
埼玉県さいたま市



東京都豊島区



宮城県石巻市



脱炭素先行モデル地域さいたま市

環境・エネルギーでの連携
経済・観光など分野横断での連携
を協議していく

国際アートカルチャー都市 豊島区

アート・カルチャーを文脈に
2020年、同年にSDGs
未来都市に選定
今後提携内容を協議していく

北上川流域連携 石巻市

北上川の源泉の町と河口の都
市。北上川関連の交流は以前
からあったが、流域の環境保
全や防災等の提携も協議して
いく

海外とのSDGs姉妹都市提携への挑戦



アイルランド



東京オリンピックキャンプ地
今年度、岩手町の学生を派遣

フランス



農業大国。農業の盛んな岩手町との親和性が高い

デンマーク



フォルケホイスコーレの理念による地域共創人材の育成